

高校生・一般の部





忘れられない宝物

私の大切なものは、お父さんにあげた誕生日カードです。父は、6年前に病気で亡くなりました。私が紙の端で書いた物を大切に保管してくれていました。私はビックリしたし、うれしかったので大事にすると決めました。

(松岡 智世さん)





名言

僕の宝物はいっぱいある。選べないぐらい全てが宝物。でも一つだけ選ぶとしたら名言。ある先生からもらった名言は「幸せを感じるために生きている」と言われてグッときた。これがあったから辛い時でもがんばれる気がする。

(soaro さん)

じゅんくんがくれた石

でこぼこの石がある。隣の家のじゅんくんが引っ越した。昔からの仲良しで、泥まみれになったりかけこした。最後の日はキレイな石を探して遊んだ。バイバイの時じゅんくんがくれた石。でこぼこの石がここにある。

(青倉 伊吹さん)



自然と子供達

青空に白い雲、その下に緑の山々が連なるそのすき間を流れる川で、子供達が水しぶきをあげる。このあたり前をずっと大事にしたい。宝石は無い地位も無い。自然と未来に生きる子供達これこそ私のいや私達の宝物だ。

(前川 純一さん)





僕の人生のたからもの

中2の時の野球部での経験。キャッチャーに「信じて投げてこい」と言われピンチをのりきることができた。困難から逃げないこと。そのキャッチャーの友達が教えてくれた、「僕の大事な人生のたからもの。」

(匿名希望)

文通の思い出

指先でメッセージのやりとりができる時代になり、便利さと引きかえの寂しさを時折感じます。たくさん工夫しながら手紙を書いた思い出は、受け取った手紙と共に彩やかに記憶に残る私の大切なたからものです。

(匿名希望)





ラベンダー色の手紙

お世話になった先生が異動するとき感謝の手紙を渡しに行った。後日、返事の手紙が届いた。6年間の思い出と励ましの言葉が綴られたあの手紙は、何年経っても私の宝物だ。

(匿名希望)

一本のビデオテープ

いきなりですが、私はもう母がいません。十年も前に亡くなりました。だから私は母の声なども忘れてしまいました。けど母が写って喋っているビデオテープがどん底にいた私を救ってくれました。それが私の宝物です。

(遠藤 華奈子さん)

いつかは終わりがくる命だから

人として命をいただいてもうすぐ60年。長い長いらうそくに火を灯し続けて今日まできた。いつかは消える炎。だから愛しくて大切に、それでいて切ない。明日という字のように明るく太陽のごとく輝かせよう。私らしく。

(西田 敬子さん)

